

CONTENTS

- ◆ Recommend books
- ◆ Library Navi
- ◆ News 風のモントランチ講座開催
- ◆ Report ライブラリー・アテンダント活動報告

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

●…9:00-21:00 ■…9:00-17:00 ■…休館日



江村 健介 先生（高等教育推進センター）おすすめ図書

「探検！ことばの世界」

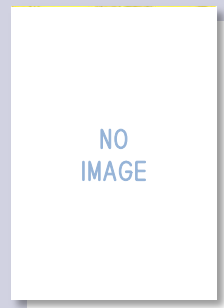
大津 由紀雄 著
ひつじ書房（2004年）

みなさんは「文法」と聞いて何をイメージしますか？多くの人は、英語などの授業で（半ば、強制的に・・・？）覚えさせられる活用形や文型などの「暗記の代名詞的な存在」とイメージするかもしれません。本書では、「文法」を暗記物ではなく、「言葉の世界を支えている仕組み」として捉えています。そして、身近な言語表現を例にとりながら、「ことばの世界を探検する醍醐味」を説明しています。

この図書館だよりを読んでいる大半の読者のみなさんの母語は日本語だと思いますが、日本語にも文法はあります。突然ですが、みなさんは「バナナワニ」と言われたら、何をイメージしますか？「バナナが大好物のワニ？」「バナナの匂いがするワニ？」「バナナのような黄色い皮膚をしたワニ？」などなど。「バナナワニ」という表現は造語であり、辞書には記載されていませんが、何かしらのワニの種類をイメージしたのではないのでしょうか。一方、「ワニバナナ」と言われたら、何かしらのバナナの種類をイメージすると思います。

このように、日本語には、二つの名詞を組み合わせて複合語を作ると、(原則として) **右側の名詞**を指すという文法規則が存在します。ここで大切なことは、日本語の母語話者であれば、このような初めて聞く表現であっても、この文法規則によって無意識のうちに理解できるという点です。就学前の子どもでさえも、たやすく理解できる事実を踏まえると、この知識が学習や経験に起因していると考えことはできません。では、どのようにして我々はこのような知識を身に付けるのでしょうか？この問いに対する現代言語学の一つの答えが、「ヒトは生まれながらにして、これらの知識を（脳内に）持って生まれてくる」という仮説です。

本書は、この仮説を支えている身近な言語表現で溢れています。また本書は、中学生でも楽しむことができるように書かれており、言語学に関する専門知識は必要ありません。言葉はコミュニケーションのツールとして不可欠であり、とても便利ですが、それゆえに、普段意識して使用されることはほとんどありません。本書を通して、我々が日々使用している言葉を支えている「脳内文法の仕組み」について、探検してみたいかがでしょうか？



所在
4F開架
810.4:オ



※ 当該図書は10月～11月中、4F図書館
たよりコーナー（東側階段を上って
正面）に展示しています



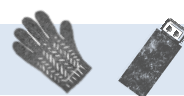
1 冬休み長期貸出を実施します



対象者 : 学生、院生
実施期間 : 12月12日(月)～12月28日(水)
返却期限 : 1月12日(木)
※院生は12月16日以降、通常通り4週間の貸出となります
貸出冊数 : 10冊

冬休みはお家であたたまりながら、読書や学習にじっくり取りかかれるチャンスです。
ぜひ図書館の本をご活用ください！

2 忘れ物にご注意を！



図書館内における忘れ物が非常に多くなっています。自分のものは自分でしっかりと管理しましょう。特に館内端末におけるUSBの抜き取り忘れが多発しています。手軽に持ち運べるUSBですが、個人情報や、課題等の大切なデータが入っていることも多いはず。取扱にはくれぐれも注意しましょう。

3 プリンターのご利用について

図書館内および風のモントのプリンターにおいて、Webページなどの情報を大量にプリントアウトした資料が放置されているのをよく見かけます。現在、館内でのプリントアウトに枚数制限はありませんが、利用状況によっては、今後制限を設ける場合もあります。プリントアウトする前に、「本当に必要かどうか」今一度よく確認しましょう。

図書館では、12月のお昼休みに下記日程で『風のモントランチ講座』を開催します。
多目的スペース風のモントで、先生方の研究に関連する様々なお話を聞くことができます。

【場 所】 多目的スペース 風のモント

【日 時】 各日 12:15~12:45

【その他】 参加自由(事前申込なし)

- ❖ 全ての回に参加する必要はありません
- ❖ 昼食をとりながら講座を聞くことができます。
- * 昼食は各自持参してください
- * 教室内に匂いが充満しますので、カップラーメンなどの汁物はご遠慮ください



また、図書館内では、講座に関連する書籍を展示します。
講座を聞いて、気になった方は図書館にも足を運んで下さいね。

日程	講座
12月1日(木)	高橋聡先生(社会福祉学部)
	文学から社会科学へ～小説を介して想像力を得る～
12月6日(火)	齋藤俊明先生(総合政策学部)
	自由とは何か？ ～自由という言葉はどのようにして成立したのか～
12月13日(火)	橋本浩二先生(ソフトウェア情報学部)
	動機と前向きな心構え
12月15日(木)	原英子先生(盛岡短期大学部)
	もっと知りたい台湾の話
12月20日(火)	黒岩幸子先生(高等教育推進センター)
	アレクシエーヴィチ(ノーベル文学賞受賞者)を読もう！

総合政策学部4年の平出です。10月、11月は沢山のLAイベントがありました！

まず10月末の大学祭では初のLA主催ビブリオバトルが行われました。
今回は全国大学ビブリオバトルの予選会という位置づけで開催しました。



当日は大学内外から5人のバトルが集結。限られた時間の中、皆さん思い思いに本への想いを披露していました！投票の結果、チャンプ本は盛岡大学の佐々木美美さんの「虎と月」に決まりました。バトルの皆様、観戦者の皆様、誠にありがとうございました。

そして11月には、岩手県立図書館のコンシェルジュガイドツアーにLAが参加しました。案内をしていただきながら、コンシェルジュの立ち居振る舞いを拝見しました。経験豊富なコンシェルジュから、接客のコツや展示物を作る際に心がけている点などを伺うことができ、LAとして実りの多い視察となりました。すべての人が快適に利用できるよう、日々コミュニケーションに気を遣っている姿を見習い、今後の活動を行っていききたいと思います！



図書館総展展に参加しました！

こんにちは。総合政策学部2年の熊谷です。私は11月8日～10日にパシフィコ横浜で行われた図書館総展展に参加してきました。そこでは大学図書館や多数の企業がブースを出展し、自らの活動の様子や、開発した新たな技術等を発表しており、どのブースにも工夫が凝らされていました。ブースを見て感じたことは「図書館の在り方」です。昨今の情報化社会の中で、図書館にしか成し得ないことは何なのかを提示しているブースが多くあったように感じました。私たちLAも図書館の利用促進を行う立場として、自分たちだからこそできることは何か、考えていきたいです。

また、私たちLAは、「ミニ企画展示総選挙～どの本が読みたくなった？～」というテーマでポスターを出展しました。これまで館内で実施した「ミニ企画展示」(LAがさまざまなテーマのもとおすすめ本を紹介するもの)を1枚のポスターにまとめ、興味をもった企画に投票してもらおうというものです。見て下さった方々からは、こうした取り組みを学生主体で行っていることが素晴らしいといったお褒めの言葉や、投票をするというアイデアが独創的でよいといった意見、またミニ企画展示の内容に関する言葉もたくさん頂きました。こうした来場者の方の反応を頂くと、今回の図書館総展展に参加して良かったと思うと同時に、活動の励みになりました。今回総展展に参加して、見たことや感じたことを、今後のLA活動に活かしていきたいです。



LAの おすすめ



こんにちは！社会福祉学部1年の荒屋敷です。今回は、いま図書館で行われている企画展示についてご紹介します。今回の企画展示では8月に行われた「選書ツアー」で選ばれた本を展示・貸出しています。その数なんと180冊Σ(°∇°)ノ選書ツアーでは学生が実際に図書館に置く本を選びます。学

生が目線選ばれた本たちなので、「どんな本が選ばれているんだろう？」「大学生はこんな本を読んでいるのか」といった視点で見ても楽しいかもしれません！

展示場所は図書館3Fの多目的学習スペースです。みなさまぜひ図書館に足を運んでみてくださいね！



図書館だより

12・1月号(第63号)
(平成28年12月1日発行)

編集・発行

岩手県立大学
教育支援室図書グループ

TEL: 019-694-2070
FAX: 019-694-2071